

令和4年度「少年の主張長野県大会」



発表作品集



長野県将来世代応援県民会議
長野県子ども・若者育成支援推進本部
独立行政法人 国立青少年教育振興機構

はじめに

「少年の主張長野県大会」は、昭和54年（1979年）の国際児童年を契機に「子どもの主張大会」として始まり、今年で44回目を迎えました。

本大会は、青少年の自主性や社会性を育み相互理解の促進を図ることを目的に、心身ともに成長期にある中学生が社会の様々な出来事や日常生活の中で感じたことなどを自分自身の言葉でまとめ、社会に向けて発表する場として始められました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、会場の変更、入場者数の制限などを実施した上での開催となりましたが、県内から700を超える作品の応募があり、校内選考及び地区選考を経て、県大会へ進む11作品が選出されました。

この作品集には、長野県知事賞を受賞された長野県諏訪清陵高等学校附属中学校の國枝耕之介さんの作品をはじめとする11作品が収められています。いずれの作品も、学校や日常生活、社会で起きていることの中で感じた疑問などを、自分なりに悩み、考えて行動している様子が語られており、読み手を引き込む魅力にあふれています。これらの作品に込められた中学生の熱い思いをぜひ多くの皆様感じていただければ幸いです。

さて、本県では、子ども・若者の成長を応援する様々な立場の皆様と「長野県将来世代応援県民会議」を設置し、子どもの性被害予防やインターネット適正利用、信州こどもカフェの普及のほか、生まれ育った環境にとらわれず自分の未来を切り拓ける社会を目指した取組を進めています。引き続き、皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、作品を応募していただいた中学生の皆さん、ご指導いただきました先生方、ご協力いただいた審査委員の皆様、本大会の開催にあたりご尽力いただいた関係者・関係機関の皆様には厚く御礼を申し上げます。

令和4年（2022年）12月

長野県将来世代応援県民会議会長
長野県子ども・若者育成支援推進本部長
長野県知事 阿部 守 一

目 次

● 県大会の様子	1
● 発表作品一覧	
〈長野県知事賞〉 よりよい子育てのためにできること	
長野県諏訪清陵高等学校附属中学校 3年 國枝 耕之介	3
〈優 秀 賞〉 あなたのの中の私	
長野市立櫻ヶ岡中学校 3年 小林 鈴乃	4
〈優 秀 賞〉 になりたい自分	
小諸市立芦原中学校 3年 小林 由奈	5
〈優 良 賞〉 「最後まで残さず食べなさい」ではなく	
根羽村立義務教育学校根羽学園 8年 太田 渚月	6
〈優 良 賞〉 常識のズレ	
南木曾町立南木曾中学校 3年 栗原 アントニ 鉄弥	7
〈優 良 賞〉 推しと私が過ごす社会	
安曇野市立三郷中学校 3年 宮坂 優希菜	8
〈優 良 賞〉 男らしさ、女らしさの分類	
松川村立松川中学校 3年 伊藤 優明	9
〈優 良 賞〉 自信を持つこと	
中野市立南宮中学校 3年 児玉 桂都	10
〈優 良 賞〉 野球人口減少の原因	
東御市立北御牧中学校 3年 武井 楽斗	11
〈優 良 賞〉 自分の正義、相手の正義	
駒ヶ根市立東中学校 3年 森田 日向香	12
〈優 良 賞〉 自分に自信をもとう！	
千曲市立戸倉上山田中学校 2年 野口 知華	13
● 審査委員長講評	
審査委員長（長野県中学校長会幹事長・長野市立東部中学校長） 篠原 謙治	14
● 全国大会作品	
【第44回「少年の主張全国大会」～わたしの主張2022～内閣総理大臣賞受賞作品】	
あなたの声、心に届け 山梨県代表 前橋 真子	16
● 参考資料	
・令和4年度「少年の主張長野県大会」実施要綱	17
・令和4年度「少年の主張長野県大会」審査委員	18
・令和4年度 地区選考会入賞者一覧	19
・歴代の長野県知事賞（最優秀賞）受賞者一覧	20
・実施経過（歴年開催地及び応募数）昭和54年度（1979）～令和4年度（2022）	21

— 大会の様子 —



発表者、審査委員（主催者含む）の皆さん



優秀賞
小林 鈴乃 さん



知事賞
國枝 耕之介 さん



優秀賞
小林 由奈 さん



主催者あいさつ
長野県県民文化部こども若者局長



発表者の皆さんにアンケートをお願いしました
(次期「子ども・若者支援総合計画」)



審査の様子



表彰式



発表者の皆さん

各主張発表動画は右の二次元コードからご覧いただけます。
(県民会議ホームページ)





よりよい子育てのためにできること

長野県諏訪清陵高等学校附属中学校 3年 國枝 耕之介

赤ちゃんはどんな時に泣くのか、なぜ泣くのかを考えたことがあるだろうか。

最近、家族で外出に行ったときに大きな声で泣く赤ちゃんを見た。そして、その子をあやすお母さんと申し訳なさそうに頭を下げるお父さんの姿を見た。私がそれを見たとき、これが本当に正しいのかと疑問を持った。確かに赤ちゃんの泣き声は私たちがしゃべる声よりも大きい。しかしながら、頭を下げる必要はないのではないか。私は本当の問題点は「頭を下げさせてしまう」という点にあると考える。

あるとき、テレビでこんなニュースを見た。「新しく保育園を建てようとしたら、近くの住民に反対されて計画がなくなった」私は、このニュースを見たときにとってもおどろいた。もちろん、それぞれの理由があって反対していると思うが、その人たちも昔は同じような教育を保育園などで受けていたと考えると解せないのだ。また、その理由の一つに「子供たちの声がうるさいから」というものがあった。確かに、小さい子供が多いとうるさくなるが、その子たちがその場所で学ぶ内容やその重要性を考えれば自分のことよりも子供の将来のことを優先したほうが良いと思うのだ。

このように、子供やそのうるさをまだ受け入れられていない人は多いのが実状だ。

私は、子供のうるさを絶対に受け入れろとは言いたくない。しかしながら、より多くの人に「小さい子がうるさいことはあたりまえ」だと理解してほしい。理解が深まればより多くの人が子育てをしやすくなり、最初の例で言えば、お父さんが頭を下げる必要がなくなるだろう。

理解して受け入れてくれる人を増やすために、私がしていることがある。それは、「赤ちゃんが泣いたらほほえむ」ということだ。これは私の母がいつもしていることを真似してはじめてのことだ。最近はマスクをしている人が多いからこそ、相手がどのように思っているかが分からず不安になる人もいるだ

ろう。しかし、少し笑うことで微力ながらも「大丈夫ですよ」と意思表示をすることができると考えている。これをされた人がいつか同じ姿を見たときに、その人に対して同じことをすれば連鎖反应的に次へ次へと繋ぐことができるのではないかと。また、もう一つ心がけていることは自分も赤ちゃんだった頃があったということをおぼえておくことだ。あたりまえだが誰もが赤ちゃんだったのだ。その時も誰かが我慢したり、協力したりしてくれていたから今の自分があるのだろう。自分に協力してくれた人がいるのなら自分も誰かに協力する。この意識も大切だろうと思っている。

これまで書いてきたようなことをしてくれる人が増え、いつか社会全体が「優しく見守ってくれる地域」のようになることが私の願いだ。私も将来、子育てに関わることになるだろう。そのときには、もっと子育てのしやすい環境、社会になっていることを強く望んでいる。

プロフィール

- 自己PR
忙しいと楽しいと感じる。人とは少しだけ違うことをするのが大好き。
- 趣味・特技
本を読むこと、ピアノを弾くこと、散歩すること、早寝早起き（趣味）
- 好きな言葉
とにかく、毎日が新しい日なんだ
- 今、熱中していること
森の中を歩くこと、料理をすること
- 将来の夢
ずっと学び続けられる人になること。
- 今の大人に一言！
いつも働いてくれてありがとうございます。



優 秀 賞

あ な た の 中 の 私

長野市立櫻ヶ岡中学校 3年 小林 鈴乃

相手の気持ちを理解し、心からうちとけられる関係になるためには、常に相手をしっかりと見据え、真正面から向き合って話をする——そう主張して、異議を唱える人はいないでしょう。相手と向き合って話を聞き、話をする……確かに真っ当な方法だと思います。しかし、本当にそうなのでしょうか。本当にそれはいいことなのでしょうか。

私は今年度、生徒会で代議員会の議長を務めています。代議員会の一番の仕事は各委員会から提案されてくる活動案の審議と承認です。代議員会の承認なしにはどの委員会も活動することはできません。生徒会活動の、扇の要のような位置にいる代議員ですが、その長となればいろいろな人と接し、話をする機会が格段に増えます。極端に言えば、人とコミュニケーションをとることこそが代議員会議長の仕事の本質なのかもしれません。

しかし、今の私は、現実には全ての人と良好なコミュニケーションがとれているわけではありません。私は、相手を正面に捉えて話をしようとして努力してきましたが、なかなか相手とうちとけられない場合もあります。そうした関係では、建前は言っても心の中の本音は言えません。生徒会活動を通じて学校をよくしていきたいという気持ちは一緒なのに「もっと腹を割って話したいなあ」「さらに通じ合いたいなあ」と、ちょっと残念な気がしていました。

そんなある日。私はある映画に出会いました。高畑勲監督の遺作となった「かぐや姫の物語」という長編アニメです。その中にこんな場面がありました。ある日を境に悲しみに沈むかぐや姫。竹取の翁も媼も姫の気持ちを聞こうとしますが、姫は「なんでもありません」と言い張るだけです。すると媼は、すとかぐや姫の横に並び、肩に手を置いて「私にも打ち明けられないことなの」と聞きます。すると、かぐや姫はあふれんばかりに目に涙をためて、「私、必死にお願いしたんです。でも、ダメだって！」と叫び出し、堰を切ったように、自分が月の都からこの地に下ろされ、八月十五夜には月へ帰らなければならないこと等をしゃべり出します。

ここは姫の正体がわかる大事な場面なのですが、私はそれとは別に「これだよ！これなんだ!!」と思わず叫んでいました。私が注目したのは、媼が位置を変えて姫の横に行き、姫と同じ方を向く姿勢になるところです。面と向かって問われ続ければ、決して姫は口を開かなかったでしょう。媼の行動には「私はあなたの味方なのよ」という無言のアピールがあったのです。

常に真正面から相手と向き合うのは、正しいコミュニケーションの方法に違いありません。でもそれは、ともすれば高校や会社の面接試験の場と同じで「私は、あなたとは違います」あるいは「話を聞いてあげましょう」という、対等ではない「離れた」関係が、まず作られます。最近言われる「上から目線」という言葉も、そうした位置関係から生じます。

もし、本当に相手と心底うちとけ、腹を割って話せる関係になりたいければ、相手の横に座り、相手と同じ方向に顔を向けるのが良いのではないのでしょうか。同じ音を聞き、同じモノを見て、同じ方向を目指しているんだよと伝える姿勢が生まれます。

私は、人と向き合うよりも、その人の隣に寄り添って、一緒に考え、一緒に悩み、そして一緒に腹の底から笑うことができる人間になりたいと思います。「あなた対私」の関係から「あなたの中の私」になること。それが、今の生徒会の仕事に生かせる、媼のさりげない心遣いから学んだコミュニケーションのあり方です。

プロフィール

- 自己PR
責任感があり、どんなことも全力でやりとげることができる。
- 趣味・特技
書道・詩吟
- 好きな言葉
因果応報
- 今、熱中していること
演劇部の活動
- 将来の夢
医療系の仕事に就いて、たくさんの人を救う。
- 今の大人に一言！
誰もが平等に、幸せに生きることのできる社会をつくってほしいです。



優 秀 賞

な り た い 自 分

小諸市立芦原中学校 3年 小林 由奈

みなさんは、赤ちゃんと聞いてどんなことを連想しますか。小さい・可愛い・天使など、大抵の人は赤ちゃんに対して良い印象を抱いていると思います。当然私もそのような印象だけを抱いていました。姉が赤ちゃんを出産するまでは。

十三歳年上の姉が二年前に赤ちゃんを出産しました。コロナ禍のため、病院で会うことができなかつた私達は、退院後、姉夫婦に抱かれ家にやって来た赤ちゃんを覗き込み、笑みがこぼれました。生まれたばかりの赤ちゃんは想像以上に小さく、表情が豊かで可愛く、ずっと見ても飽きませんでした。末っ子の私にとって初めて間近で見る赤ちゃんです。おくるみにくるまれた赤ちゃんを抱っこしてみると、ふわっとして何も持っていないみたいでした。

その日から、我が家に赤ちゃんのいる生活が始まりました。学校へ行く時は赤ちゃんに声をかけ手を振り、学校が終わると走って家に帰り赤ちゃんのお世話をします。それは今までに味わったことのない幸せな生活でした。

それから一ヵ月以上経ち、姉と赤ちゃんは元々暮らしていたアパートへ帰りました。寂しいなあと思っていたのも束の間、アパートへ帰ってすぐ、姉は産後うつになってしまったのです。いつもニコニコしていて常にポジティブで、元気で明るく看護師として働いている、あの姉が産後うつ。うつとは一番遠いところにいるような人だと思っていたので私は信じられない気持ちでした。アパートから赤ちゃんと一緒に戻ってきた姉は、私の知っている姉ではなくまるで別人のようでした。いつもの弾けるような笑顔は消えてしまっていたのです。義兄はとても優しく、子育てに積極的ですが、仕事で家にいない間、姉はこの上ない孤独と不安を感じていたようです。

今、日本で核家族化が進む中、私の家はちょっと変わっていて、父方の祖父母、母方の祖母との三世帯住宅です。キッチンもトイレもお風呂も玄関も別々ですが、一つ屋根の下で暮らしています。普段の生活ではあまり一緒に過ごす時間はありませんが、誕生日やクリスマスなどのイベントの時には家族皆で集まり十人位で食事をする、私は生まれた時からずっとこの生活をしています。だから、私は家

に帰っても誰もいなかったことがなく、寂しい思いをしたことはありません。私はとても恵まれた環境にいるなど感じています。同じようにこの家で育った姉は、アパートで赤ちゃんと二人だけの時間、初めての子育てへの不安を相談できる相手がいなく、寂しい思いをしていたのだと思いました。以前、ニュースで虐待の要因の一つに、核家族化が進んでいることが挙げられているのを見たことがあります。赤ちゃんは可愛いけれど、実際に育てるとなると、なぜ泣いているのか分からなかったり、夜中に起こされ睡眠不足になったりと、大変なことや不安なことが沢山あることを知りました。姉の産後うつは、私達家族にとって、とてもつらく大変な出来事でしたが、このちょっと変わった我が家の良さを再認識できた機会でもありました。

現在、姉夫婦は我が家の近くに家を建て、母の手厚いサポートと、家族皆に支えられ、育児・仕事・家事に励んでいます。そして、もうすぐ二歳になる姉の子は、やっぱり天使です。その場にいるだけでぱっと明るくなり、誰もが笑顔になります。

将来私は、どんな職に就きどんな場所で暮らしているのか分かりませんが、私達家族のように、互いに支え合いながら、どんな困難があっても人との関わりを大切に乗り越えていける、そんな大人に私はなりたいです。

プロフィール

- 自己PR
好奇心旺盛で何事も努力することができる。
- 趣味・特技
音楽鑑賞・新体操
- 好きな言葉
心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。
- 今、熱中していること
ギター
- 将来の夢
法律や世界情勢に関心があることから国際弁護士、兄と姉の影響から医師に興味がある。
- 今の大人に一言！
若い世代も主体となれる社会を作ってほしい。



優 良 賞

「最後まで残さず食べなさい」ではなく

根羽村立義務教育学校根羽学園 8年 太田 渚月

「残さず食べよう」「最後の一粒まで食べよう」

ここにいる多くの人が、言われたことのある言葉だと思います。この言葉は、昔から日本人が大切にしている「もったいない」という考えに基づいており、食べ物を残すこと、つまりフードロスとは日本では良くないこととして誰もが教わってきたことです。

しかし、最近フードロスの問題が大きくなっているということを、私はテレビ番組で知りました。テレビには、賞味期限が近く販売できない商品や、賞味期限は長いのに季節に合っていないなどの理由で捨てられてしまう商品が、映っていました。私はそれを見て、まだ食べられるのに捨ててしまうなんてもったいない、なんでそんなに廃棄しなければならないのだろう、そう思いました。

しかし、思い返すと、私には実際にフードロスを感じた体験がありました。私は小学校六年生の頃、給食委員会に入っていて、全校から返却された食器や食缶を、トラックに積み込むための手伝いをしていました。私は自分のクラスで、給食を残す人を見たことがなかったため、全校でも大して残す人はいないだろうと思っていました。しかし、運ばれてくる食缶には、たくさんのご飯や、デザートが残されているのを見て、これらは廃棄されてしまうんだと思うと、なんてもったいないことをしているのだろうと残念な気持ちになりました。私の友人も、うちのクラスに分けてくれれば絶対残さないのに、と驚いていました。この出来事からフードロスは、他人事ではなく、自分事なんだと感じますが、皆さんはどうですか。日本全体では、年間約六百トンもの食品の廃棄が余儀なくされています。聞いたことのある人もいると思いますが、国民一人あたり一日一杯のご飯を捨てていることとなります。また、六百トンのうちおよそ四十六パーセントが家庭から出たフードロスです。主に買いすぎや賞味期限切れ、食べ残しが家庭から出ています。私はこの現状を知り、やはり最後まで食べることはとても重要なことだと感じました。

一方で、世界の食べ残し、フードロスの状況はどうでしょう。実は世界では食べ残しどころか、災害や戦

争、紛争などにより飢餓で苦しんでいる人が、およそ六億九千万人いるそうです。これは日本の人口の約五・七倍です。SDGsの二番目の目標にも「飢餓をゼロに」とあるように、世界では飢餓で苦しんでいる人々のことも、大きな問題です。私たちと同じくらいの子どものも飢餓で苦しんでいると知り、私は胸が苦しくなりました。

最近テレビでは、こんなCMがあります。「最後の一粒まで食べなさい。そうではありません。最初の一粒が食べられない子がいます。」そこに映っているのは、何一つ載っていないお皿。私はそれを見て、お腹いっぱい食べられることが当たり前ではないと、改めて感じさせられました。

フードロスの問題は、一人ひとりがこの現状を知れば、意識が変わるのではないかと、私は思います。実際に私もこの問題を知ってから、買い物をする際に本当にいるのかを、考えるようになりました。フードロスと聞くと、私たちの行動で何がかわるのか分かりにくい部分もあります。しかし、一人ひとりが家庭から出るフードロスを減らすことができれば、確実にこの問題を解決できると思います。同じように、フードロスから見える、飢餓の問題も、まず知ることが一番重要だと思います。今回私の話を聞いて、多くの人が現状を知ろうとし、自分にできることから行動してもらえたら、とても嬉しいです。

プロフィール

- 自己PR
様々な出来事を丁寧に振り返り、次に生かすことができる。
- 趣味・特技
ドイツ音楽を、ピアノで演奏すること。
- 好きな言葉
やればできる
- 今、熱中していること
読書
- 将来の夢
物事に対して多面的・多角的に捉えられる人
- 今の大人に一言！
ありがとうございます。



優良賞

常識のズレ

南木曾町立南木曾中学校 3年 栗原 アントニ 鉄弥

みなさんは、「常識」という言葉を聞いてどのようなことを思い浮かべるでしょうか。テレビでもよく使われていますし、本のタイトルや帯にも使われているので、日々どこかで触れる言葉なのではないでしょうか。ですが、その“ズレ”についてとなるとどうでしょう。この作文では、そんな常識のズレについて僕なりに考えたことを述べていきたいと思います。

インターネットの発達で色々な人と気軽につながることができるようになり、自分と相手の中の常識にズレや違いが生まれることはきっと経験済みだと思います。僕は個人の間で生まれる“常識のズレ”に注目し、その背景にあるものを考えました。

個人の“常識のズレ”が生まれるのには二つの要因があると考えます。一つは「自分に起こったこと」、もう一つは「育った地域」です。

一つ目の「自分に起こったこと」とは言い換えれば、経験した出来事や見たもの、得た知識などです。それらが記憶や教訓として残り、本人にとっての常識に取り込まれていく。そう考えるとズレが生じるのも当然と言えるのではないのでしょうか。テスト勉強でいえばコツコツ進める人と直前に一気にやる人がいるのは、これが要因だと考えます。コツコツやったから良かったという経験と直前にやってなんとかなったという経験の違いが、テスト勉強に対する常識のズレに繋がっているといえます。

そしてそのズレを助長するのが世間に広まっている「勘違いや思いこみ」だと僕は考えています。もちろんすべてがそうというわけではありませんが、世間一般で言われていることが実は違っていたということはよく耳にします。SNSなどで根拠の分からない情報がどんどん広まり、それを信じて行動した結果、大きな問題となっている様子も報道されることがあります。頻繁に接するSNSだからこそ、その人にとってそこにある情報を信じるのが常識になってしまうのだと思います。

二つ目の「育った地域」とは、その地域で共有され

ている常識がそのまま自分の常識に取り込まれているということ。僕自身、これを強く感じた出来事がありました。それは、初めて海外で生活したときの挨拶の違いです。

日本で挨拶というと「おはよう」など言葉で交わすことがほとんどです。しかし、僕が行った国ではチークスというほっぺをくっつける挨拶が常識でした。最初は戸惑いや恥ずかしさもありましたが、繰り返すうちに徐々に慣れて当たり前を感じるようになりました。生まれ育った地域や生活している地域にあるもの、そこで共有されている考え方は、やはりその人の常識に大きな影響を与えるのだと考えています。

自分の持っている常識には必ずどこかに他人とのズレがあります。だからこそ僕はそのズレを気にしないこと、ズレているのが当たり前なんだという考え方が大事だと思います。僕がここまで述べてきた「常識のズレ」とは言い換えれば「文化の違い」でもあります。その違いは決して悪いものではないはず。一人一人の持っている常識にズレがあるからこそ個性が生まれるし、自分の中に新しい考え方が生まれるきっかけになります。僕はこれからも常識のズレを意識して、その出会いを大事にしていきたいと思えます。

プロフィール

- 自己PR
誠実で、きめたことは、しっかりやる
- 趣味・特技
読書・チェス
- 好きな言葉
やったもん勝ち
- 今、熱中していること
将棋
- 将来の夢
高額納税者となり、社会貢献する。
- 今の大人に一言！
自分の常識を見つめてみてほしい。



優 良 賞

推しと私が過ごす社会

安曇野市立三郷中学校 3年 宮坂 優希菜

うれしいこと、楽しいこと、辛いこと、悲しいこと。色々なことがあったときに心の支えとなってくれる「推し」。そんな推しがネット上で誹謗中傷を受け、活動をやめた。最初は戻ってきてくれる、いつかまた笑顔の推しを見られると思っていた。しかし、推しは活動をしていない。

私はどうして、推しが大好きだった活動をやめなければならなかったのか、今でもわからない。推しが誇りに思っていた活動を否定されて、推しが苦しんだと思うと胸が痛む。近年、ネットの普及によって有名人や身近な人に対する気持ちを気軽に発信できるようになった。そして、発信されたことを不特定多数の人が見ることができるようになった。ネットは「諸刃の剣」だ。多くの人へ発信し、多くの人を受け取る社会はとても便利だ。私も身をもって実感している。ネットがなければ推しが活動することはなかっただろうし、私が推しに出会うこともなかっただろう。ネットがあったおかげで私は楽しい時を過ごした。しかし、そのネットで、ネット上で顔も名前もその性格も知らないたくさんの人から、推しは誹謗中傷を受けて傷つけられ、体調を崩し活動をやめさせられた。

道具は正しく使わなければならない。正しく使うための道具を、ましてや人を傷つけるために使うことは絶対にあってはならない。電気で人を感電させない、ガスコンロの火で人を火傷させない、ネットで人の心を傷つける言葉を書き込まない。どれも常識だ。私たちは諸刃の剣の良い面ばかりに目を向けがちだが、悪い面も捉えて悪い面を最大限に抑えなければならない。私自身も言葉の使い方気をつけている。紙に書く言葉、話す言葉、ネットに書き込む言葉。言葉の重さは全部同じなのだから、全世界の人にもっと言葉の重みを考えてほしい。言葉の重みは目に見えない。だからこそ、一人ひとりが一つ一つ場面に合わせて適切な言葉を選ぶべきだ。それを今暮らしている人はほとんど意識していないだろう。私もこの出来事があるまでは、楽しくて便利なネットを何も考えずに使っていた。でも、そろそろ誹謗中傷をしている人に気づいてほしい。今自分たちがやっている行動は、みじめで、愚かで、馬鹿馬鹿しいということ。

そしてもう一つ、気になったことがある。「有名税」とい

う言葉だ。有名人であるために誹謗中傷を受けることや代償を税金に例えた言葉だ。そんな言葉が世にある社会に、今私は生きている。そう考えるだけで悲しく、むなしくなる。「相手の人の立場に立って」私は誹謗中傷をする人の立場で考えてみた。自分に自信がない。自分はこれだけのこともできないのに、あの有名人はこんなに輝いている。自分より抜けているのに。どうして。

他人と比較して落ち込み、他人の粗を探してネットに書き込む。そんな人がたくさんいて、集团的に一人の人間を、命を追い込む。有名人だから、嫌な人だからと、いくら理由を探しても人を傷つけていい理由なんて一つもないのだから、もうやめてほしい。物で満たされる世界よりも人のあたたかみで満たされる世界の方が、私たちはもっと「自分」という人間を出して生きられる。だからこそ、私は日本中、世界中のみなさんに、主張したい。

「他人と比較して欠点を探さず、自分を磨こう。」

「物で満たされず、人のつながりで満ちろ。」

「全ての人に与えられているチャンスを全てつかみとり、努力して成果を出そう。」

私たちの世代はこれからどんどんとネットに触れる機会が増えるだろう。私は絶対に人と自分を比較せず、自分を満たしたい。そのために多くの努力をする。ここに住む全員が身体的にも精神的にも支え合う社会、大切だ。

プロフィール

- 自己PR
やりたいこともやりたくないことも、全て本気でやり抜く。
- 趣味・特技
音楽鑑賞・タイピング
- 好きな言葉
本気でやれば楽しいし、大抵のことはできる。
- 今、熱中していること
目の前にある生徒会の仕事・勉強
- 将来の夢
医療従事者となって、苦しむ人を救うために全力を尽くしたい。
- 今の大人に一言！
今も未来も多くの人が安心して笑顔を保てるような明るい社会を実現してほしい。



男らしさ、女らしさの分類

松川村立松川中学校 3年 伊藤 優明

女の子はピンクやぬいぐるみ、男の子は青や車のおもちゃが好き。これは本当にそうなのでしょう？世の中にはこれらのように女は～、男は～などといったような分類が多いような気がします。

私の兄はピンクを着たりするいわゆるピンク男子です。しかし、弟はそれに対して「男なのにピンクはダサイ。」と言いました。その言葉に対して違和感を覚えました。男なんだから、女なんだからという言葉を書くたびに男は～、女は～という分類は何のためにあって、どういうものかを考えます。

まず、男らしさ、女らしさがあることで、自分の好きな色や形の服が着れなかったり、本当は好きなおもちゃを「あなたは女の子（男の子）でしょう？」と買って買ってもらえなくて悲しむ子供もいます。小さい頃から自分の好きなものや、考えを否定されてしまうと、大人になっても自分の考えを出すことができなくなるかもしれません。そして、「自分らしさ」というものを出せなくなってしまう。人間は似ていても、それぞれ心は違います。皆が一緒だと思っていて分類することは知らずに人を傷つけてしまうことにもつながります。

なぜ人間は人を分類してしまうのでしょうか。私は調べていく中で、ネットで人は普段面倒なことが嫌いという記事を見ました。だから人間は分類することで考えることを減らしているのではないかと思います。

ですが、すべて分類してしまうのはあまりよくないことだと思います。分類という考えにとらわれて、自分がその考えからはみ出ないように、自分の意見を発さずに、互いにすれ違ってしまふことがあります。それはとても悲しいことです。

しかし、分類するというのは昔からの考えです。昔からの考えをなくしていくことはとても難しいと思います。そして、多様な考えの今、昔の人の考えを否定することは少し反しているのではないかと考えました。分類というのも一つの考え方だと思います。

そして、女は～、男は～ということにも利点はあると思います。体格的な違いによって男は重い荷物を持ち、

女は、もたなくてもよいことになります。反対に、昔は、女が家事をこなし、男はそういったことをしなくてよかったです。分類にはそれぞれにあった仕事に分けてくれます。

しかし、利点が利点だと思える人と、そう思えなくて、苦しむ人もいます。例えば、先程あげたことのように男の人に荷物をもってもらい、自分がもてないと思われていると思ひ悔しかったりという思いをする人もいます。やはり分類は知らないうちに人を苦しめています。

では、分類もつといえば差別。をなくすにはどのようにすればいいのでしょうか。私が出した答えは、じょじょに知ってもらえばいいです。差別によって苦しんでいる人がいること、差別が人をどのようにするのかを知ってもらうことで分類という古い考えがなくなって、「自分らしさ」を出せる新しい考えがどんどん広まっていくと思います。

私は昔の人の考えを大切にしつつ、新たな考えをとり入れて苦しむ人がいなくなったらとても良いと思います。昔からの考えの分類をなくすことはすぐにはできないと思います。だからこそ多くの人に知ってもらいたいです。

差別は世の中にたくさんあります。男らしさ、女らしさをなくすためにまず、世の中のことを知ることから始めようと思います。

プロフィール

- 自己PR
日々何事にも真剣にとりくんでます！
- 趣味・特技
バレエ
- 好きな言葉
EPIC DAYS
- 今、熱中していること
読書
- 将来の夢
保育士になって幸せを感じられる子供を増やしたい。
- 今の大人に一言！
男らしさ、女らしさについて考えてみてください。



優良賞

自信を持つこと

中野市立南宮中学校 3年 児玉 桂都

あなたは自分に自信がありますか？という13～29歳の男女を対象とした意識調査があります。「ある」と答えた日本人の割合は45%でした。あなたはこの数字を見て、どのように思いますか？私はとても低いと思います。

私は自信家です。ナルシスト、慢心している、と思われてしまうかもしれませんが、きちんと自重し、謙虚であることを忘れていたつもりはありません。ただ自信に満ちあふれているのです。実際に何か特別に優れているわけではなくても、自分の考えややりたいことをしっかり持って、その目標のために努力を惜しまないという考えを持っている自分をなぜ誇りに思えないのか、とってしまいます。しかし、自信がすぎると周りの声に耳を傾けない、自分しか信じない、というのは良くありません。それではただの自分勝手に、わがままな人になってしまうからです。

私ははじめから自信があったのではありません。むしろ自信があまり無かった方だと思います。私が「どうせ私なんて…」と言った時は、周りの友達まで暗い気分になってしまいました。私が自信を持つと思ったのは、自分を好きになれたからです。つい弱気になってしまいそうな時には、「大丈夫、私は大丈夫。」と自分を励ましました。そうしていくうちに外見にも効果が表れた気がします。以前よりも活気があって表情が明るくなったなどと友達に言ってもらえた時は、本当にうれしかったです。いきなり自信を持つのは難しいかもしれませんが、自分で自分を励ましたり、少しでも自信が持てそうなところを褒めたりするのは効果的だと思います。

最初に自分に自信がありますか？という質問を話題にしましたが、日本以外の国はどんな感じなのでしょう。最も割合が高かったアメリカは86%、3位のフランスは82%、6位の韓国は71%です。日本は7位ですが、韓国との差はとても大きいことが分かります。ただ、少し思うのは、日本は謙虚さを大切に、その場の雰囲気に合わせてという独特の文化が

影響しているということです。相手の気持ちをくみ取って、傷つけないように振る舞うべきとされ、自慢したり自信満々に行動したりするのはあまり良くないとされるため、誰もが「自分は大したことない」と謙遜し、何かで成果を出した時も有頂天にならずに、「今回はたまたまうまくいっただけ」といった姿勢を示します。このような社会に生まれてからずっと生きていたため、日本人の結果の割合は極端に低かったのだと思います。私は、このように思いやりがあり、相手への配慮を忘れないというのはとても大切なことであり、日本人の良さでもあると思います。しかし、それによって自分の本心や意見までも我慢し、人と同じ方向を向く必要はないのです。全員が自信を持って良いのです。

周囲やより広い世界との関係の中で、自分を客観的に見る思考力があるのだと自覚し、自分を否定しすぎないことがこれからの日本を担う若者に大切だと思います。また、極端な話ですが、「自分は何をやってもダメだ」という考え方で鬱っぽい人生を送るよりも、少しでも前向きにポジティブに生きる方が人生が楽しくなり、将来やりたいことが増えると思いませんか？私はこれからも自信を少し過剰に持ちたいと思います。自分を好きになれない人を、他人が好いてくれるとは思いませんから。

プロフィール

- 自己PR
興味を持ったことに対して、とことん追求していく。
- 趣味・特技
読書、音楽鑑賞
- 好きな言葉
人生は自分でつくるもの
- 今、熱中していること
文化祭に向けての部活の発表。
- 将来の夢
翻訳家になって、世界中の人とつながりたい
- 今の大人に一言！
誰もが生きやすい世の中にしてほしい



優 良 賞

野球人口減少の原因

東御市立北御牧中学校 3年 武井 楽斗

僕は、野球が大好きだ。しかし、野球人口が年々減少していることを知った。小中学生の野球人口は、2007年は約66万人だったのに対し、2020年には約41万人まで減っているそうだ。実際に部活動での中学野球においても、僕が入部した時と比べて、部員数が足りずに合同チームとなっているチームもかなり増えた。「野球人口減少」はとても身近なものとなってきている。このことについて僕は次のように考える。

まずは、スポーツの多様性だ。昔に比べてスポーツの選択肢が増えた。実際に中学部活ランキングを昔と今で比べてみると、僕達の親世代の1位が野球だったのに対し、現在の1位はサッカーで、野球は4位だ。決してスポーツの多様性を否定しているわけではない。問題はスポーツが多様化している中で、他のスポーツに野球が負けているということだ。例えばサッカーだったら、ボール1つあればできるし、何となく見よう見まねでルールを知らなくてもできるスポーツではある。しかし、野球を初めてやる人たちにとって、打つ、投げる、捕るが、なかなか難しい。僕も初めて野球をしてみた時、ボールを上手く捕れなかったし、特にバッティングが本当にできなかった。ただでさえ野球との接点が少なくなっている今、大切なことは、野球に触れる機会を増やすこと、そしてなにより、野球を楽しむことだと思う。実際に上小地区では、2019年から中高生が協力して、主に野球未経験者を対象とした「野球まつり」が行われている。野球人口増加のために楽しく野球をするという企画である。打つ、投げる、走るが、ゲーム感覚でできるアトラクションがいくつかあり、毎年多くの方が参加をしてくれている。様々なスポーツができる現代で、このようなイベントなどを通して野球というスポーツの素晴らしさをたくさんの人達に知ってもらえたらうれしい。

このスポーツの多様性に関連させてもう一つある。「道具」だ。最低限野球に必要な物としてグラブ、バット、スパイク、ボールがある。グラブは軟式用だと2万円ほど、硬式用だと5万円程度はする。さらにバットにおいては、最近性能が本当に良くなってきており、軟式のゴム製バットは4万

円ほどする。ただでさえ道具が多い上、お金がかかるとなると、負担は大きいと思う。道具が多いということは、競技上仕方ないことだが、これも野球人口減少の一つの原因となっているのではないだろうか。だが、だからこそ野球人は誰よりも道具を大切に使う。

次に「考え方」についてだ。その代表的な例として坊主頭である。高校野球を見ていると、坊主頭の割合が圧倒的に多い。果たして坊主頭は、そこまで重要なのだろうか。坊主頭のチームは強いのか。逆に坊主頭ではないチームは弱いのか。もちろん好きで坊主頭にしている人達のことは否定しないが、中には仕方なく坊主頭にしている人も少なくはないと思う。実際に「中学は野球部に入っていたが、高校では坊主頭が嫌で野球部には入らなかった。」という人もいる。野球人口を増やしていくために、こういった古い固定概念をなくしていかなければならないと僕は思う。

最後に、野球人口減少といっても、プロ野球や高校野球の人気は変わらないままだ。僕は、小学5年生の時に野球を始め、「なんて面白いスポーツだ」と思った。それからどんどん野球の沼にハマっていったのだ。野球は、とても魅力的なスポーツだ。だからこそ野球をさらに広めていく価値がある。たとえ野球人口が減少しても野球の魅力は絶対に変わらない。全ての人々に野球の魅力を伝えていくことが、僕たち野球人の役目だと僕は思う。

プロフィール

- 自己PR
何事も全力。リーダーシップがある。
- 趣味・特技
J-POP、K-POPを聴くこと
- 好きな言葉
苦しい時こそ今の自分を超えられるチャンス
- 今、熱中していること
野球
- 将来の夢
スポーツトレーナーになってアスリート、地域に貢献する。
- 今の大人に一言！
お金のためだけに仕事をしているのではないということ
を証明してほしい



自分の正義、相手の正義

駒ヶ根市立東中学校 3年 森田 日向香

みなさんは、アンパンマンの登場するシーンを見たことがありますか。ばいきんまんをやっつけにくるときアンパンマンは『正義の味方、アンパンマン!』といって登場します。でも、アンパンマンにとっての正義っていったい何のことなのでしょう。ばいきんまんをやっつけることなのか、でも、だとしたらばいきんまんにとっての正義はアンパンマンをやっつけることになります。このように人によって違ういろんな「正義」が世界にはあります。

ここで一つ例をあげたいと思います。電車やバスで混んでいるとき、高齢そうに見える人が乗ってきたとします。あなたは気づかいという自分の正義で席を譲ります。でも100人中100人がその席に座るでしょうか。中には、何か目的があって立っている人や、いらぬ人だっているかもしれません。でもそれはどちらも自分の正義です。へんなことでも悪いことでもありません。でもこのように、自分の正義＝相手の正義と直接結びつかないこともあります。「正義の味方アンパンマン」も自分にとって何の役にもたないただのパンになることだってあるのです。

このようなときに大切なことは相手の立場状況になってみることだと思います。自分の中だけでフタをしてしまうと、自分一人の考えしかみえず対立になってしまうことがあります。そこで立場を変えて、相手の気持ちを考えてみると自分と違う考えがうかんだり、間違えていることに気づくかもしれません。そうしたら、自分も相手も納得できるようになるはずです。対立したときに、自分は何がいちばん大事か、また、相手がいちばん大切にしていることは何なのか、お互いに考えるといいと思います。

最後に、ヨシタケシンスケさんが書いた『なんだろう なんだろう』には、「正義」は人を助けること、救うこともできるけど、そのために戦争だってできてしまう。誰かを否定するものでも、譲るものでもない正義。正義ってなんだろう。と書いてありま

す。自分の正義が人を救うことも傷つけることもある中で、みなさんは何を大事にしていますか。私は学校生活の中で本当にたくさんの正義があることを学びました。自分と相手は違っていてことを常に心に入れて生活していきたいです。そして、何か聞かれたときには、○か×で答えるのではなくて、いろんなことを考えたいです。他と意見が違っても自信をもって自分でいられるようにしていきたいです。

プロフィール

- 自己PR
責任感は強い。ポジティブ思考。
- 趣味・特技
物づくり
- 好きな言葉
Don't think, feel.
- 今、熱中していること
文化祭で使う旗作り。
- 将来の夢
映像作家で人のきおくに残るようなものを作りたい。
- 今の大人に一言!
今と昔の時代とか考え方の変化に気づいてほしいです。



優 良 賞

自分に自信をもとう！

千曲市立戸倉上山田中学校 2年 野口 知華

みなさんは「自分に自信がありますか？」と問われたら、どう答えますか？なぜ、こんなことを言うかという、学校で生活している中で、自分に自信を持っていない人が多いと時々感じるからです。そう感じた三つの経験を紹介します。

一つ目は「一人で何かの行動をしたくない人が多い」ということです。ここには自分に自信が持てないことが関係していると考えます。そこで、一人で行動したくない理由を、何人かの人に聞いてみました。すると、次のような意見が返ってきました。「友人がいないと思われないな・・・。」や「隣に誰かいないと何となく落ち着かない・・・。」などです。この意見から、自分が周りからどう見られているかを気にしすぎて、自分への自信が薄れていると考えました。

二つ目は「話しているとき、必要以上に自分のことを下げてしまう人がいる」ということです。「自分なんて〇〇だから・・・。」が口癖になっている人もいます。しかし、私がこれまで出会ってきた人の中で、この自分への評価に当てはまる人は一人もいませんでした。みんな自分が考えているより、良いところや魅力的なところがたくさんありました。自分の良さや魅力に気がついていない、知らないのではないかと考えました。

三つ目は「自分を守るために自信を持たない」ということです。これはどんなことかという、みなさんも経験があると思いますが、例えば授業中に発言を求められ、誰も挙手する人がいないときです。そのときに間違えたり笑われたりすることを恐れ、挙手をしなかったり、黙っていたりすることです。誰も挙手しないから自分もしないでおく、誰も何も言わないから自分も黙っている。このようなことは、授業中だけでなく、クラスや部活動等、多くの場面で経験してきました。しかし、このような状態では、発言したり意見を言ったりした人の考え方に偏ってしまい、より良いものにたどり着けなくなってしまうかもしれません。多くの人の、様々な考えが出た方がより良い方法が見つかったり、みんなの成長につながったりすると思います。

しかし、そうはいつでもなかなか自分に自信が持てない人も多いと思います。そこで、どうしたら良いか考えてみました。私は、次のことを提案します。それは、少し角度を変えて自分自身を見つめ直してことです。あることがうまくいかないとき、それだけを気にしたり、他の人と比べることばかりしては自信をなくしていくのは当然です。その負の連鎖から脱するために、違う角度から自分を見つめ直して、「だけど、自分にはこれがある！」と感じられるような、新たな自分の良さを発見してみませんか？

また、次のような方法も提案します。自分の好きなこと、興味のあることをさらに伸ばす努力をすることです。好きなことや興味のあることならば、自分から進んで取り組み、さらに自分の知識や技能、能力を伸ばすことにつながられるかもしれません。それが自分の成長につながり、最後は自信へとつながっていくと思います。

みなさん、今回の私の考えを聞いて、自分に自信が持てそうだと思うしていただけでしょうか？

みんなに何か他の人より輝いているところ、他の人より興味を持っているものがあると考えています。それに気づかず、何でも周りの人と比べたり、他の人を羨ましがったりするのではなく、いろいろな角度から自分を見つめ直したり、自分の良さをさらに伸ばしたりして、みんなが自分に自信を持ち、楽しい学校生活、人生を送ってほしいと思います。

プロフィール

- 自己PR
切りかえが早く、いつでも前向きです。
- 趣味・特技
いろいろな人とすぐに仲良くなれます。
- 好きな言葉
自分の歩く道は自分で決める
- 今、熱中していること
吹奏楽でチューバを吹くことです。
- 将来の夢
教師
- 今の大人に一言！
私達の思いをきいてほしいです。



審査委員長 篠原 謙治

(長野県中学校長会幹事長・長野市立東部中学校長)

長野市立東部中学校の篠原謙治と申します。本日、審査委員長を務めさせていただきました。審査委員を代表して、講評を述べさせていただきます。

本日、発表してくれた10人の皆さん、素晴らしい発表をありがとうございました。

日常生活の中で感じていることや考えていること、社会で起きた出来事について世に訴えたいこと、あるいは体験をとおして感じていることなど、それぞれ個性あふれる主張を自分の言葉でまとめ、堂々と主張してくれました。いずれも県大会にふさわしい優れた内容の発表であったと思います。

根羽学園の太田渚月さんは、小学校のときに全校ではたくさんのご飯が残されているのを見てもったいないと感じ、最近のフードロス問題について考えてくれました。一方、世界の飢餓で苦しむ人にも思いを巡らせ、お腹いっぱいには当たり前ではない、まずは現状を知ることが重要であると私たちに投げかけてくれました。

南木曾中学校の栗原アントニ鉄弥さんは、人との間で常識のズレが生まれるのは、その人の経験や得た知識と育った環境が背景にあるのではないかと、海外での生活や実体験に基づいて主張してくれました。そして、人とズレることは当たり前で、決して悪いものではなく、逆に個性や新しい考えが生まれることだと述べてくれました。

三郷中学校の宮坂優希菜さんは、自分を支えてくれた「推し」が誹謗中傷を受けて体調を崩し活動を辞めさせられたことを受け、道具は人を傷つけるために使うことは絶対にあってはならないと感じました。人の温かみで満たされる世界を創り上げるために、人とのつながりをもっと大事にしようと強く訴えてくれました。

松川村立松川中学校の伊藤優明さんは、世の中には男らしさ、女らしさという分類が多く、そのことで自分らしさを出せなくなっている人もいて、互いにすれ違ってしまうこともあると指摘してくれました。そして、人を分類することや差別をなくすために、自分をもっと世の中のことを知ることから始めようという決意を語ってくれました。

櫻ヶ岡中学校の小林鈴乃さんは、生徒会議長の経験から、人と真正面から向き合って話をするのはよい事なのか疑問を抱き、映画「かぐや姫の物語」との出会いから、相手の横に座り相手と同じ方向に顔を向けることがよいと自分なりの答えを見出しました。「あなた対私」から「あなたの中の私」の言葉が力強く、心に残りました。

南宮中学校の児玉桂都さんは、なぜ日本人は自分に自信がある人の割合が少ないのか問題を提起し、自信があまりなかった自分は弱気になりそうなときは「私は大丈夫」と励ましたことで変わったことの経験を述べてくれました。謙虚さという日本人のよさ・文化にも触れ、自分を否定しすぎないことが若者には大切だの言葉に力がありました。

芦原中学校の小林由奈さんは、お姉さんが産後うつになった辛い出来事を、勇気をもって発表してくれました。そして、たくさんの家族に恵まれている我が家のよさを再認識し、将来は互いに支え合いながら、人との関りを大切に作る大人になりたいと笑顔で力強く語ってくれました。今はお姉さんも赤ちゃんたちと元気に暮らしているとのこと、よかったです。

北御牧中学校の武井楽斗さんは野球が大好きで、野球人口が年々減少しているのは、スポーツの選択肢が増えたこと、道具にかかる費用や坊主頭などの固定した考えが原因ではないかと深く考えてくれました。野球に触れる機会を増やし楽しくやるのが大切であり、野球の魅力を伝えていくことが僕たち野球人の役目だの言葉には頼もしさを感じました。

諏訪清陵高校附属中学校の國枝耕之介さんは、大きな声で泣く赤ちゃんをあやし頭を下げる親の姿に触れ、子どもの声がうるさいと保育園設立に反対する住民に対して、自分のことより子どもの将来を優先してほしいと主張してくれました。自分が実践する「泣いたら微笑む」を通して優しい地域になってほしいと願う、心温まる発表でした。

駒ヶ根市立東中学校の森田日向香さんは、人によっていろいろな正義があり、自分の正義と相手の正義が直接結びつかないこともあると、電車やバスの席譲りを例に語ってくれました。大切なことは相手の立場になってみることであり、自分と相手は違うということを常に心に入れて生活していきたいの言葉は、信念が伝わってきました。

戸倉上山田中学校の野口知華さんは、学校生活における経験から自分に自信を持っていない人が多いと感じ、その原因は周りの目が気になるから、自分のよさや魅力に気づいていないからなどと分析してくれました。そして、角度を変えて自分を見つめ直したり、自分が興味のあることを伸ばしたりすることが自信へとつながると訴えてくれました。

さて、例年であれば、県内の中学校を会場に開催される少年の主張長野県大会ですが、本年度は、新型コロナウイルス感染症への対応から、JA 長野県ビルを会場に開催されました。熱意を持って本大会を主催してくださった方々に改めて感謝申し上げるとともに、本日の発表が作品集として県下の中学校に届けられ、多くの中学生が読んでくれることを強く願っています。

最後になりましたが、自分の想いや考え、願いを堂々と発表してくれた発表者のみなさんにあらためて感謝したいと思います。発表者の皆さん、本日は素晴らしい発表をありがとうございました。

「第44回 少年の主張全国大会 ～わたしの主張 2022～」

内閣総理大臣賞受賞作品

あなたの声、心に届け

山梨県 北杜市立甲陵中学校 3年 前橋 真子

「真子ちゃん、きょうだいいるの?」「妹と弟がいるよ。」「妹かぁ。羨ましい。」羨ましいなんて……。私は妹の存在を口に出すのをためらうことがあった。

私の妹は生まれつき音が聞こえない重度難聴だ。左耳に音を増幅させる補聴器、右耳に脳に音の信号を送る人工内耳を付けている。発音も上手ではない。私が小学生のとき「妹、障がい者なのに元気だね。」と友達に言われた。なんとも言い表せないモヤモヤが私の心に渦巻いた。障がいのある妹が明るく元気なのは普通のことではないと思い、恥ずかしさを覚えた。そしていつの間にか妹のことを口にするのも、一緒に出掛けるのも辛くなった。

この春中学校入学を控えた妹は、補聴器を新調した。私も一緒に店に行った。そこには色とりどりの補聴器が並んでいた。お店の方は、好きな色を選ぶよう言った。私は「真紀ちゃん、黒か茶色を選んだら?」と勧めた。強く勧めた。黒か茶色なら髪の毛と同調して、あまり目立たない。みんなと変わらない見た目で見られる。恥ずかしい思いをしなくてすむように、何度も言った。しかしそんな私を見て妹は言ったのだ。「誰になんて思われても、これは私の耳なの。私は黄色い補聴器の私を見てもらいたい。」妹に言われてハッとした。障がいにこだわっていたのは私自身だったのだ。

聴覚障がいのある妹が、明るく元気なのはおかしいのか。いや、妹は妹だ。妹が笑顔を絶やさないのは、今まで本当に沢山の努力をしてきたからだ。私と同じ小学校に行くために、人工内耳の手術を受け、手話が無くても友達と話せるように病院やろう学校に通って、発音練習を頑張っていた。誰にでも優しいのは、自分がされて嫌なことや辛かったことを痛いほど知っているからだ。私は、今まで辛くて、悔しくて泣く妹を何度も見た。でもその度に努力してハンディキャップを乗り越えていた。そんな妹の努力を一番近くで見て知っているのは私だ。障がい者というフィルタを通さず、ありのままの妹を見て欲しい。手話や口話、筆談、テレビの字幕も全部、社会と繋がるコミュニケーションツールの一部だ。それが妹の全てではない。

聴覚障がい者は、一度見ただけでは耳が不自由かわからず、接し方に戸惑うことがある。でも耳の不自由な人がみんな、相手に手話を望んでいるわけではない。聴覚障がい者が困っているときは、その人の正面から「何か手伝えることはありますか。」と口を大きく開け、ゆっくり話しかけてほしい。

「思いやりのある言葉は、たとえ簡単な言葉でも、ずっとずっとこだまする。」これは貧困や病に苦しむ人の救済に生涯を捧げた、マザーテレサの言葉。心のバリアフリーの精神を表している。まずは聞こえないことについて知ろうとしてほしい。その思いやりでどれだけ救われる人がいることだろう。

妹は毎日黄色い補聴器をつけ、お気に入りのテニスラケットを持ち元気に登校している。先日友達に「妹さん明るくて、部活のムードメーカーで、頑張っているよ。」と言われた。ありのままの妹を見てくれていると分かり心が温かくなった。そんな妹は私の誇りだ。

私たちにできることには限りがあるかもしれない。それでもあなたの身近にハンディキャップを持つ人がいたなら、そのハンディというフィルタ越しではなく、その人自身や心に寄り添ってほしい。障がいのある人への理解が進むことで、一人またひとりと笑顔が増えていくと確信している。

妹の耳に、あなたの声は聞こえないかもしれない。でも、あなたの気持ちは妹の心に確実に、届いている。

全国大会は右の二次元コードからご覧いただけます。
(独立行政法人国立青少年教育振興機構ホームページ)



令和4年度「少年の主張長野県大会」実施要綱

1 趣 旨

心身ともに大きく成長する時期にある中学生が、日ごろの生活を通じて考えていること、実践していることを意見や提言にまとめて発表することにより、青少年の自主性や社会性を涵養する。

また、その発表内容を広く紹介し、青少年の意識の啓発と青少年健全育成についての県民意識の高揚を図る。

2 対 象

長野県に在住している中学生及びそれに相応する学籍又は年齢にある者（以下「中学生」という。）

- ・作品は未発表、自作のものであること。
- ・国籍は問わないが、日本語で発表できること。

3 主 催

長野県将来世代応援県民会議

長野県子ども・若者育成支援推進本部（長野県、長野県教育委員会、長野県警察本部）

独立行政法人 国立青少年教育振興機構

4 日 時

令和4年9月9日（金） 午後1時50分から午後4時30分まで

5 会 場

J A長野県ビル 13階 13A会議室 （住所：長野市大字南長野北石堂町1177番地3）

6 発表内容

過去1年以内に書いた未発表の作品で、以下の内容をテーマとしたものとする。

- ・社会や世界に向けての意見、未来への希望や提言など。
- ・家庭、学校生活、社会（地域活動）及び身の回りや友だちとの関わりなど。
- ・テレビや新聞などで報道されている少年の問題行動、大人や社会の様々な出来事に対する意見や感想、提言など。

7 発表時間

5分程度（400字詰原稿用紙4枚程度）

8 応募方法

（1）応募者は、在籍している中学校が指定する日までに在籍している中学校に原稿を提出する。

（2）中学校長は、当該中学校の応募作品から学校代表作品を2点まで選び、令和4年8月23日

（火）までに地域事務局長（当該中学校の所在地を管轄する県の地域振興局の総務管理（・環境）課県民生活係）に提出する。

なお、学校代表作品は、少年の主張長野県大会及び全国大会における作品発表や、大会後に作成する作品集等において、作品（作文）、氏名、学校名、学年、顔写真の公表・掲載やYouTubeによる配信に同意する生徒の作品とし、生徒本人にその旨の了解を得た上で地域事務局長に提出すること。

9 発表候補者の地区推薦

（1）地域事務局長は、管内の応募者について書類選考等による選考を実施し発表候補者を決定する。

（2）地域事務局長は、発表候補者を別紙様式1により長野県将来世代応援県民会議事務局長に推薦する。

また、実施結果を別紙様式2により報告する。

ア 推薦者数 1人（ただし、当初予定していた開催中学校がある長野地域事務局にあっては、当該開催中学校からの推薦1人を含む2人）

イ 推薦期限 令和4年9月1日（木）

10 県大会の発表者

地域事務局長から推薦された11人（各地域事務局から1人。ただし、当初予定していた開催中学校がある長野地域事務局にあつては、当該開催中学校からの推薦1人を含む2人）

11 審査

主催者及び学識経験者で構成する審査委員会において、下記に定める基準により審査を行う。

基準事項	観 点
論 旨	中学生らしい新鮮な主張であったか。
	意見・希望などの主張がはっきりとしており、実現・実践する意欲が感じられたか。
	主張の内容が個人の体験にとどまることなく、一般性と社会性があったか。
	論旨が一貫しており、構成がしっかりしているか。
論 調	内容に説得力があったか。
	声や言葉が明瞭で聞きやすかったか。
	間の取り方や声の抑揚は、主張を伝えるのに適当であったか。
態 度	話しぶりに熱意と迫力があつたか。
	聴衆をよく見て落ち着いて話すことができたか。

12 表彰

長野県知事賞1人、優秀賞2人とし、その他の者に優良賞を贈呈する。

※ 長野県知事賞受賞者を、独立行政法人国立青少年教育振興機構が主催する「第44回少年の主張全国大会」の発表候補者として推薦する。

13 その他

提出された作品の著作権は、当県民会議に帰属するものとする。

令和4年度「少年の主張長野県大会」審査委員

【審査委員長】

長野県中学校長会 幹事長

篠原 謙治

【審査委員】

日本放送協会長野放送局 副局長

平野 哲史

長野県将来世代応援県民会議 理事

降旗 茂孝

長野県PTA連合会 副会長

山田 麻紀

長野県教育委員会心の支援課 教育主幹兼生徒指導係長

山寺 政幸

長野県警察本部生活安全部人身安全・少年課長

羽毛田孝一

地区選考会 入賞者一覧

(県大会発表者を除く)

地域事務局	氏名	テーマ	学校名	学年
佐久	黛 みちる	笑顔にするには	佐久市立野沢中学校	2 学年
	渡邊 真央	戦争	小諸市立芦原中学校	2 学年
	小林 桃子	相手の気持ちを考える大切さ	佐久市立野沢中学校	3 学年
上田	堀 琴葉	人生で一番落ち込んで学んだこと	東御市立北御牧中学校	3 学年
諏訪	宮坂 真琴	違いを認め合える社会に	諏訪市立上諏訪中学校	3 学年
	宮下 千陽	これからの地球のために	長野県諏訪清陵高等学校附属中学校	1 学年
上伊那	田畑 陽菜	魔法の言葉	伊那市立春富中学校	3 学年
	酒井日菜子	人のために動く力	伊那市立春富中学校	3 学年
	佐藤由紀恵	世界でたった一人の私達	駒ヶ根市立東中学校	3 学年
南信州	成田莉々花	映画じゃない、現実	根羽村立義務教育学校根羽学園	9 学年
木曾	武居 愛実	文化は大切なもの	南木曾町立南木曾中学校	3 学年
	西尾 仁湖	世界中を笑顔に	南木曾町立南木曾中学校	3 学年
松本	山下 真央	私のものだから	安曇野市立三郷中学校	1 学年
北アルプス	宮下 心	趣味の違う人	松川村立松川中学校	3 学年
	山本 結愛	いじめをなくすために	松川村立松川中学校	3 学年
長野	飯島花里菜	女性も活躍できる未来へ	千曲市立屋代中学校	3 学年
	上原 優輝	祖母と認知症	長野市立櫻ヶ岡中学校	3 学年
北信	春原 颯也	消費税から考える 選択するときのこと	中野市立高社中学校	3 学年
	土屋 南緒	ウクライナ侵攻について	中野市立南宮中学校	3 学年

「少年の主張長野県大会」歴代知事賞（最優秀賞）受賞者一覧

回	年 度	氏 名	テーマ	学校名	学年	全国大会 出場者	全国大会 三賞等受賞名
1	昭和 54	赤羽 清美	いま学校で考えること	豊科町立豊科中学校	2年		
2	55	村田 幸子	価値ある体験	豊科町立豊科中学校	3年		
3	56	飯島美知子	女性差別について	穂高町立穂高中学校	3年		
4	57	福沢 聡和	真の福祉とは	駒ヶ根市立赤穂中学校	3年		
5	58	宮沢紀美子	少年非行について考える	三郷村立三郷中学校	3年		
6	59	高橋由利子	こんな親に期待する	伊那市立春富中学校	3年	○	
7	60	三石あゆみ	私の家庭	長野市立裾花中学校	3年		
8	61	湯澤ちあき	曲がった心	松本市立旭町中学校	3年		
9	62	樋口美奈子	私の生きかたー私の家族を通じて	宮田村立宮田中学校	2年		
10	63	南沢 創	我が生いたちの記	上田市立第三中学校	3年		
11	平成 元	田中 信行	家族のつながり	東部町立東部中学校	3年		
12	2	中島亜州香	私の家庭ー母の姿を見てー	大町市立第一中学校	3年		
13	3	丸山 美穂	私の姉と家族	日義村立日義中学校	3年		
14	4	岩下奈穂子	たった「二人」の家族	山口村立山口中学校	3年		
15	5	松沢かおる	プルタブと私	更埴市立屋代中学校	3年	○	文部大臣賞
16	6	原 直子	汚れた靴	木祖村立木祖中学校	3年		
17	7	三原 英利	価値ある人間へ	豊科町立豊科南中学校	1年		
18	8	李 景仙	チョゴリと私	長野朝鮮初中級学校	3年		
19	9	金 由里	言葉の大切さ	長野朝鮮初中級学校	3年		
20	10	野中 美奈	日本語を教える先生になりたい	阿智村立阿智中学校	2年		
21	11	永井みざわ	本当の美しさ	長野市立犀陵中学校	2年		
22	12	高橋 千寛	私の介護体験	豊科町立豊科北中学校	3年	○	
23	13	萩原早紀子	私の夢	小谷村立小谷中学校	3年		
24	14	柴原 理志	揺るがない想い	大町市立第一中学校	3年	○	審査委員会特別賞
25	15	湯原 武留	国際協調の時代を目指して	長野市立北部中学校	3年		
26	16	小山 詩織	夢を持つ私であるために	佐久市立東中学校	3年	○	
27	17	小山 恵子	花のように	高山村立高山中学校	3年		
28	18	溝口うらら	一步踏み出す勇気	売木村立売木中学校	3年	○	
29	19	眞鍋 静香	素敵な笑顔	白馬村立白馬中学校	3年		
30	20	田中 麻梨	私の夢	須坂市立東中学校	3年	○	
31	21	村松 里奈	「伝える」ということ	長野市立広徳中学校	3年		
32	22	佐藤 凜	心のふるさと	売木村立売木中学校	3年		
33	23	石黒 香帆	父と私の処方箋	長野市立広徳中学校	3年		
34	24	肥田野美香	二つの出会い	長野市立広徳中学校	3年		
35	25	小澤 美稀	祖父の言葉	長野市立広徳中学校	3年		
36	26	宮澤 紀伊	遠くの隣人	長野市立西部中学校	3年	○	
37	27	佐藤 美槻	笑顔の仮面を外すと…	長野市立西部中学校	3年		
38	28	佐藤 匠馬	ネットのすき間	長野市立西部中学校	3年		
39	29	丸山 祐奈	考える私に	長野市立東部中学校	3年		
40	30	畠山 紬来	先生は三歳	長野市立東部中学校	3年	○	
41	令和 元	塩沢 歩花	「それしかないわけではない」未来	高森町立高森中学校	3年		
42	2	向 彩音	被災の地で	長野市立東部中学校	3年	○	
43	3	松本 奈穂	認め「愛」の社会を	安曇野市立三郷中学校	1年		
44	4	國枝耕之介	よりよい子育てのためにできること	長野県諏訪清陵高等学校附属中学校	3年		

実施経過（歴年来開催地及び応募数）昭和54年度（1979）～平成17年度（2005）

回	年度	県大会			東信			南信			中信			北信			応募人数（人）	
		地事	会場名（中学校及びその他）	地事	中学校名	地事	中学校名	地事	中学校名	地事	中学校名	地事	中学校名	少年	親	計		
																	中学校名	中学校名
1	昭和54		県庁講堂												1,355		1,355	
2	55		県庁講堂												(不明)		(不明)	
3	56		県庁講堂												211		211	
4	57		県庁講堂												101		101	
5	58		県庁講堂												157	26	183	
6	59		県庁講堂												1,122	26	1,148	
7	60	長野市立	裾花												590	37	627	
8	61	松本市立	旭町	南佐久	臼田町立	臼田町立	岡谷市立	岡谷北部	松本	塩尻市立	塩尻市立	長野市立	長野市立	長野市立	1,969	55	2,024	
9	62	上伊那	宮田	上小	上田市立	第一	組合立(注)	高陵	木曾	木曾福島町立	福島	下高井	中野市立	中野市立	793	83	876	
10	63	上小	上田市立	北佐久	佐久市立	中込	箕輪町立	箕輪	北安曇	大町市立	仁科台	下水内	飯山市立	飯山市立	617	70	687	
11	平成元	北信	中野市立	上小	東部町立	東部	諏訪市立	諏訪南	松本	松本市立	清水	長野	長野市立	長野市立	309	41	350	
12	2	北安曇	大町市立	佐久	小諸市立	芦原	飯田市立	飯田東	木曾	槽川村立	槽川	北信	中野市立	中野市立	639	33	672	
13	3	諏訪	茅野市	上小	上田市立	第五	伊那市立	伊那	北安曇	松川村立	松川	長野	長野市立	長野市立	2,844	28	2,872	
14	4	佐久	佐久町立	佐久	佐久市立	浅間	飯田市立	旭ヶ丘	松本	松本市立	松島	北信	飯山市立	飯山市立	1,639	41	1,680	
15	5	長野	更埴市立	上小	丸子町立	丸子北	南箕輪村立	南箕輪	木曾	木曾福島町立	福島	長野	須坂市立	須坂市立	4,334	29	4,363	
16	6	木曾	木祖村立	佐久	浅科村立	浅科	富士見町立	富士見	北安曇	大町市立	仁科台	北信	中野市立	中野市立	664	44	708	
17	7	下伊那	松川町立	上小	上田市立	第二	伊那市立	春富	松本	豊科町立	豊科南	長野	坂城町立	坂城	1,390	28	1,418	
18	8	上小	上田市立	佐久	臼田町立	臼田	岡谷市立	岡谷西部	木曾	大桑村立	大桑	北信	豊田村立	豊田	1,656	37	1,693	
19	9	北信	山ノ内町立	上小	丸子町立	丸子	飯田市立	飯田西	北安曇	池田町立	高瀬	長野	豊野町立	豊野	4,736	81	4,817	
20	10	松本	三郷村立	佐久	佐久市立	東	伊那市立	東部	松本	塩尻市立	広陵	北信	中野市立	高社	4,890	20	4,910	
21	11	上伊那	駒ヶ根市立	上小	上田市立	第四	諏訪市立	諏訪	木曾	槽川村立	槽川	長野	長野市立	犀陵	3,989	55	4,044	
22	12	佐久	小諸市立	佐久	御代田町立	御代田	飯田市立	飯田	北安曇	白馬村立	白馬	北信	飯山市立	飯山市立	6,755	17	6,772	
23	13	北信	豊田村	上小	真田町立	真田	飯島町立	飯島	松本	松本市立	女鳥羽	長野	須坂市立	相森	2,547	17	2,564	
24	14	北安曇	大町市立	佐久	望月町立	望月	茅野市立	永明	木曾	日義村立	日義	北信	中野市立	中野市立	2,653	24	2,677	
25	15	諏訪	諏訪市立	上小	上田市立	第一	飯田市立	飯田西	北安曇	大町市立	第一	長野	更埴市立	埴生	1,708	27	1,735	
26	16	上小	上田市立	佐久	佐久市立	野沢	伊那市立	西箕輪	松本	穂高市立	穂高	北信	飯山市立	飯山市立	2,249	23	2,272	
27	17	長野	高山村立	上小	東御市立	東部	岡谷市立	岡谷北部	木曾	木祖村立	木祖	長野	長野市立	広徳	1,258	22	1,280	
	合計														51,175	864	52,039	

(注) 1 昭和54年度から「国際児童年」を記念して「子どもの主張大会」の開催を開始した。
 2 昭和58年度から「親の部」を新設し、名称を「少年と親の主張大会」とした。
 3 昭和61年度から地方大会を開始した。
 4 平成18年度から「親の部」を廃止し、名称を「少年の主張大会」とした。
 5 昭和62年度南信地方大会の「組合立」は、上郷町飯田市学校組合立を指す。

実施経過（歴年開催地及び応募数）平成18年度（2006）～令和4年度（2022）

回	年度	県大会		地区選考応募者数（各地方事務局）										応募人数（人）							
		地事	会場名（中学校及びその他）	東信			南信				中信			北信			少年	親	合計		
				佐久	上田	諏訪	上伊那	南信州	木曾	松本	北アルプス	長野	北信								
27	平成17																		51,175	864	52,039
28	18	木曾上松町立	上松	146	2	156	5	33	30	88	51	5	410	926	0	926	0	926			926
29	19	下伊那飯田市立	竜峡	1	3	1	751	33	122	587	91	8	442	2,039	0	2,039	0	2,039			2,039
30	20	佐久小諸市立	原	9	7	2	663	3	41	310	190	17	300	1,542	0	1,542	0	1,542			1,542
31	21	北信中野市立	高社	1	9	1	470	6	58	357	474	38	120	1,534	0	1,534	0	1,534			1,534
32	22	北安曇大町市立	美麻小中	7	12	0	1,236	1	4	8	37	24	80	1,409	0	1,409	0	1,409			1,409
33	23	上伊那箕輪町立	箕輪	1	20	40	1,174	0	168	19	88	7	99	1,616	0	1,616	0	1,616			1,616
34	24	上小上田市立	上田第三	24	10	1	360	1	47	8	337	5	12	805	0	805	0	805			805
35	25	長野野市立	犀陵	356	7	0	182	1	56	10	23	272	0	907	0	907	0	907			907
36	26	松本組合立	筑北	1,035	106	502	193	0	92	43	5	220	26	2,222	0	2,222	0	2,222			2,222
37	27	諏訪岡谷市立	岡谷南部	1,480	60	683	510	0	46	10	9	243	33	3,074	0	3,074	0	3,074			3,074
38	28	佐久佐久市立	野沢	868	13	1,105	423	0	169	0	90	200	366	3,234	0	3,234	0	3,234			3,234
39	29	北信飯山市立	城北	23	13	590	1,204	0	56	78	134	72	256	2,426	0	2,426	0	2,426			2,426
40	30	木曾木曾町立	木曾町	62	10	23	818	15	257	7	10	2	80	1,284	0	1,284	0	1,284			1,284
41	令和元	南信州高森町立	高森	346	22	19	81	336	16	11	22	2	108	963	0	963	0	963			963
42	2	長野市芸術館	（リサイタルホール）	118	87	43	433	75	23	18	70	3	99	969	0	969	0	969			969
43	3	動画審査	（長野県高校教育会館）	25	345	82	328	15	42	32	10	3	112	994	0	994	0	994			994
44	4	JA長野県ビル	（13A会議室）	82	62	60	205	13	4	4	75	43	155	703	0	703	0	703			703
	合計													77,822	864	78,686					

（注）平成18年度から、親の部を廃止するとともに4ブロックの地方大会を地方事務局ごとの地区選考とし、名称を「少年の主張長野県大会」として実施している。
（注）令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場を中学校から長野市芸術館に変更し、無観客で開催した。
（注）令和3年度は、上田市立第二中学校で開催する予定であったが、開催時期での上田地域の新型コロナウイルス感染警戒レベルが5に上がったため、審査委員による動画審査に変更し、長野県高校教育会館で実施した。
（注）令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場を千曲市立戸倉上山田中学校からJA長野県ビルに変更し、無観客で開催した。

令和4年度「少年の主張長野県大会」 発表作品集

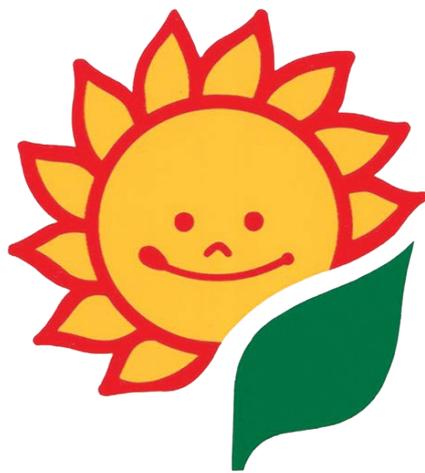
令和4年12月発行

長野県将来世代応援県民会議／長野県子ども・若者育成支援推進本部

－お問合せ先－

〒380-8570 長野市南長野幅下692-2
長野県県民文化部子ども若者局次世代サポート課内

電話番号 026-235-8996 (FAX 兼用)
メールアドレス youth@axel.ocn.ne.jp
ホームページ <http://himawari-nagano.net>



伸びよう 伸ばそう 青少年
毎月第3日曜日は「家庭の日」

長野県将来世代応援県民会議の事業は、
多くの賛助会員の皆様に支えられ実施しています。